
ベランダ

姫華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ベランダ

【著者名】

姫華

N5685C

【あらすじ】

2年前
私達の恋は始まった。この物語は、実話を元にしたフィクションです。楽しんで下さい

第1話・ベルアンダ

2年前

私達の恋は始まつた。

私は、西田 彩。今日から中学生…またあの季節がやつて來た。
私と宏鷹が別れた日…。

これは2年前、私と宏鷹の切ない？物語です。

第2話・出会い

「おーい……」俺の場所なんだけど
「は？ そんなん関係無くね？」私は廃墟になつた中学校のベルランダ
にいた。
…これが私達の出会いだつた：

「は？ 俺の言つ事聞けねえの？」

「私、お前と友達じゃないし言つ事聞かないよ？」

「上等じやん？ お前名前何？」

「西田彩だけビ～てかナンパ？」

「は？ ちびーし！ 俺、高田宏鷹。友達になろーぜ？」

「いいよー・メアド教えて～？」

《ワラ》

「お前」モナンパ？ワラ》

私達はメアドを交換して、たわいもない話で盛り上がり、それから
しばらくして、

また明田の場所で会つ事になつた。

次の日、私は何故か昨日の事を思って出でキドキしていた。

「私、何でキドキしてんだる。」

「プルルル…プルルル」

「はい。もしもじ」

「あつー！俺、俺！」

「俺おれ詐欺ならお断り！」

「違うしー！俺だよ。宏鷹だけど…今日来れる？」

「じゃあ今から来てー！」

「うふ。bye × 2」

この時から

もこう私はあなたに恋してたのかもしれないね？…宏鷹。
のベランダに着くと、宏鷹がいた。

あ

「宏…鷹？」

「おー…彩あー…おせえよ。」

「てかさあ今からどうか行かねえ？」

「どうかって何処?」

「ゲーセンとかゲーセンとかゲーセンー!」

「結局ゲーセン行きたいんじゃん?」

「じゃあ行こ!つか足あんの?お前

「あつー…歩いて来たから足ない。」

「はあ…仕方ねえ!俺が乗せるしかねえな」

「まじでーサンキュー!乗せてくれんの?」

「しつかり掴まつとけよー!」

：
しばらくして無事ゲーセンに着いた。
：

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5685c/>

ベランダ

2011年1月15日22時14分発行